



## ごあいさつ



SK松本ジュニア合唱団  
団長 芦田勝弘

本日は年末を迎え何かとお忙しい中「SK松本ジュニア合唱団2014クリスマスコンサート」にご来場頂きまして誠にありがとうございます。

当合唱団は1993年のSKF(サイトウキネンフェスティバル)が上演したオペラ「火刑台上のジャンヌ・ダルク」に出演した児童合唱団を母体に結成され、SKの文字を誇りに、地域に愛される合唱団を目指し活動を続け、21年の歴史を重ねるまでに なりました。

今年も「スプリングコンサート」や当合唱団が主管して開催した「長野県少年少女合唱祭」また、SKF関連事業の「お城deハーモニー」への参加、「子育て同盟サミット in長野」での演奏、「長野県童謡唱歌フェスティバル松本大会」、和楽器のオーケストラ「むつのを」への出演など充実した活動ができました。

特に今年は「SK松本ジュニア合唱団 OBコンサート」が開催され、卒団生がプロとして音楽や舞台など様々な世界で活躍している姿や、趣味としても地域で歌うことを続けている姿を見て、現役の団員にとっても大きな刺激になったのではないかと 思っています。

今年のクリスマスコンサートの第一ステージはすっかりクリスマスコンサートの定番となったミサ曲(Missa pastoritiaより)です。当合唱団がお送りする天使の歌声をお楽しみください。

第二ステージは誰もが知っている歌でつづる「唱歌でつづる日本の四季」です。

第三ステージは合唱ミュージカル「100万回生きたねこ」です。この作品は佐野洋子の絵本を原作としたミュージカルで、一匹の猫が何回もの生まれ変わりを通して愛を知り、心を開いていく、シンプルですが深い意味をもったストーリーで、受け手によって様々な理解が考えられる作品です。

このような合唱ミュージカルに取り組めることも当合唱団の特徴の一つですが、演奏と共に保護者が一所懸命作った猫の衣装なども見てください。それでは本日のコンサートを十分お楽しみください。



キッセイ文化ホール  
館長 出川久雄

本日は、「SK松本ジュニア合唱団2014クリスマスコンサート」が盛大に開催されますことを、心よりお慶び申し上げます。

「SK松本ジュニア合唱団」は、私どもキッセイ文化ホール(長野県松本文化会館)が開館した翌年、1993年の「サイトウ・キネン・フェスティバル」で上演した、オペラ「火刑台上のジャンヌ・ダルク」に出演した児童合唱団が母体となり、結成された合唱団だと聞いております。以来当館との関係は21年を数えており、キッセイ文化ホールの良きパートナーとして、これから先も益々活躍して欲しいと強く思っております。

昨年のクリスマスコンサートは、合唱団結成20周年記念のコンサートでもあったので、様々なジャンルの楽曲が歌われ、楽しいコンサートになりました。今年はどうのようなコンサートになるのか今から楽しみにしております。

観客の皆様におかれましては、どうか子供たちをあたたく見守り、惜しみない応援をお願い申し上げます。